

1 キーボード入力について考えてみよう

○キーボード入力は速い方がいい？

- ・文部科学省の情報活用能力調査（2015年）で1分間のタイピング入力の平均速度は小学5年生は5.9文字、中学2年生は17.4文字、高校生は24.7文字でした。
- ・原稿用紙は400文字、A4文書1枚1600文字くらい。これでは1分で1行以下です。
- ・ちなみに、校長先生は1分間に約180文字程度入力できます。
- ・自転車やスケートと同じで、一度覚えてしまえば手元を見ないで入力できます。

○どうしたら速く、正確に入力できるようになるのか？

- ・手元を見ないで入力できるようにすること。
→画面を見たり、手元を見たりを繰り返していると、疲れるし、遅くなります。
- ・両手のすべての指を使って入力できるようにすること。
→「ホームポジション」に指を置き、指を動かしたら必ず元の場所に戻します。
どのキーをどの指が押すのか、役割分担があります（裏面の図を参照）。

2 キーボードの入力練習のしかた

○まず、だまされたと思って、毎日1時間を10日続けましょう

- ・最初が肝心です。最初だけは、あきらめずに毎日続けてみましょう。
- ・はじめは、ホームポジションから、指で1文字押しは戻す、を繰り返します。
- ・画面を見て手元は見ません。手元にタオルをかけ、キーを隠すとよいです。
- ・文字では説明が難しいので、YouTubeで「タイピング練習」で検索してみましょう。

○ホームポジションとは？

- ・10本の指は、置く場所が決まっている（裏面参照）。
- ・指を置く「基準の場所」→「F」と「J」に人差し指。
- ・その他の指は、手を丸めて順番に一直線に置く。

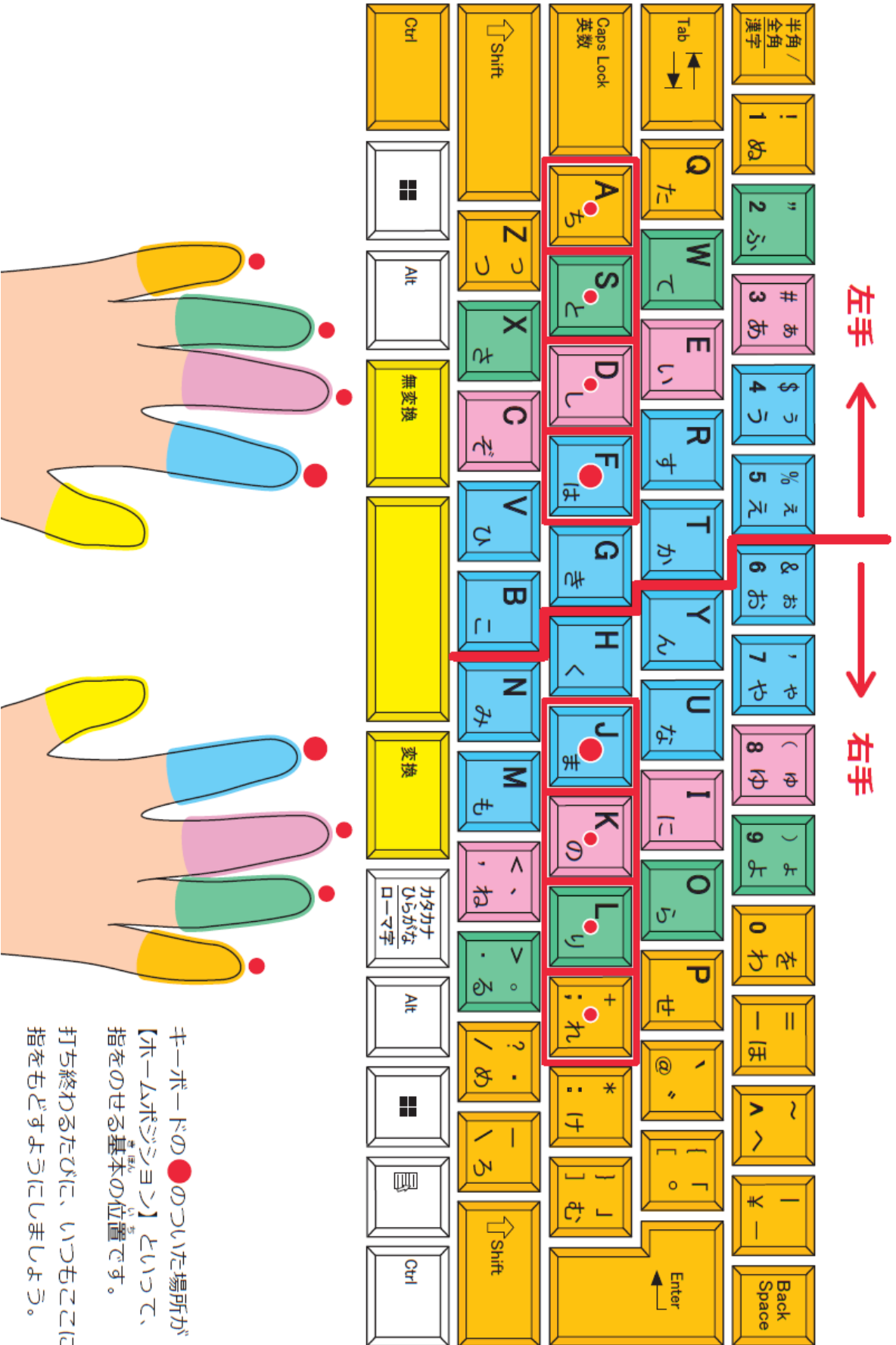
○なんとなく手元を見ないで入力できるようになればOK

- ・あとは、ホームポジションを意識しながら入力していれば、自然に速くなります。
- ・頭の中で考えたことが、自然に入力できるようになることが目標（ゴール）です。
- ・若いうちはすぐにできるようになります。できるようになれば一生役に立ちます。入力が速い人と遅い人で、生涯どのくらいの差が生まれるか？考えてみましょう。



タッチタイピングをおぼえよう

© ちむむすドット http://happylic.net/syogaku.html



キーボードの●のついた場所が【ホームポジション】といって、指をのせる基本の位置です。打ち終わるたびに、いつもここに指をのせよう。

<https://happylic.net/sy-keyboard03.html> から画像を使わせていただきました。